



# しばはら

〈学校教育目標〉 明るく さわやかな子の育成

さいたま市立芝原小学校

さいたま市緑区芝原2丁目5番地

TEL 873-4133 FAX 810-1123

Web <http://shibahara-e.saitama-city.ed.jp>

## 星の王子さまになりませんか？

校長 吉岡 貴和



物語「星の王子さま」の作者として知られるサン＝テグジュペリは、1900年にフランスの都市リヨンで貴族の子として生まれました。スイスの学校で文学を学びますが、その後、兵隊を志願し異例の経歴で軍用機の操縦士となりました。退役後に民間航空機のパイロット兼作家として26歳の時に文壇デビューしますが、第2次世界大戦中の1944年、偵察飛行中に地中海上空で行方不明となってしまいます。その後、長い間行方不明のままでしたが、2000年に、彼の乗っていた飛行機の残骸が、海中から発見されました。

代表作「星の王子さま」の本文中にも、その他の作品にも、サン＝テグジュペリは、名言と言われる言葉をたくさん書き残しています。時に勇気づけられたり、自分を反省したり、なぐさめられたり、先人の名言はとても心に響きます。ここにいくつか紹介しましょう。今の皆さんにも共感できる言葉があるかもしれません。

- ・心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは目に見えないんだよ。
- ・人生には解決法なんか無いんだ。あるのは前に進む力だけだ。解決法はあとからついてくるものさ。
- ・本当の愛は、もはや何一つ見返りを望まないところに始まるのだ。
- ・おとなはだれもはじめは子どもだった。しかし、そのことを忘れずにいるおとなは、ほとんどいない。
- ・計画のない目標は、ただの願い事にすぎない。
- ・地球は先祖から受け継いでいるのではない。  
子どもたちから借りたものだ。
- ・砂漠が美しいのは、どこかに井戸をかくしているからだよ。
- ・本当の贅沢というものは、たった一つしかない。  
それは人間関係に恵まれる事だ。



アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ

(「星の王子さま」の著作権保護期間は満了しています。)

先日さいたま市出身の宇宙飛行士、若田光一さんが新聞に載っていました。JAXAが近く日本人宇宙飛行士を募集するという記事でした。児童の皆さんを含め、これから採用される世代の宇宙飛行士は、再び月へ降り立ち、これまでの探検とは違い、そこで生活をするという新しい世界を切り開く人材です。

宇宙飛行士という本当の「星の王子さま」になるのはいかが？

(JAXAの定年は60歳。私もまだ間に合うかな。)